

Facebook の地域広報の使い方として

- ・ イベントの予告(日時・場所・内容を事前告知)
- ・ 結果報告(写真・参加人数・感謝の言葉など)
- ・ 地域の注意事項(防犯・防災・交通・衛生などの注意喚起)
- ・ 経過報告(準備の様子や進行状況)

✅ 届きやすくする工夫

- ・ 画像や短い動画をつけると表示されやすい
- ・ 投稿の冒頭に結論や日時を入れる(例:「🔥 8/30 防災訓練のお知らせ!」)
- ・ 住民に「シェア」や「いいね」を促す
- ・ 投稿の頻度は多すぎず少なすぎず(目安: 月 2~4 回)
- ・ イベント前は「カウントダウン投稿」や「リマインド投稿」をすると効果的

さらに、町会や地域活動では Facebook だけに頼らず、LINE 公式アカウントや掲示板、回覧板などと併用するのが安心です。特に高齢者層は Facebook を見ていない場合が多いので、多チャンネルで伝えると漏れが減ります。

📣 イベント予告例

🔥 防災訓練のお知らせ

📅 8 月 30 日(日)10:00~

📍 神路小学校 校庭

地域の皆さんと一緒に「避難・初期消火・応急手当」を体験します。

ご家族やご近所の方とぜひご参加ください!

👉 詳しくはこちら(案内チラシ画像を添付)

✅ 結果報告例

🌸 夏祭りご参加ありがとうございました!

8 月 1 日 2 日に開催した夏祭りには、延べ 500 名の方にご来場いただきました。

地域の協力で無事に終了しました。

当日の様子を写真でご紹介します 📷 ✨

(写真アルバムを投稿に追加)

⚠️ 注意喚起例

🚲 自転車の駐輪についてお願い

夏祭り当日は、校門前・歩道への駐輪はご遠慮ください。

👉 駐輪場は大今里公園にご用意しています。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします!

🔄 経過報告例

準備進んでいます!

9 月の敬老会に向けて、会場の飾り付けを進めています 🎀

当日は写真撮影コーナーもご用意します 📷

ぜひ楽しみにしていてください。

(準備風景の写真を 1 枚添付)

📌 ポイント

- ・ 冒頭にテーマを一言+絵文字(目立つ)
- ・ 日時や場所は数字で明確に
- ・ 写真・画像を必ず添付(アルゴリズム上、拡散されやすい)
- ・ 「👉」「ぜひ」など行動を促す表現

地域活動協議会の Facebook 活用の方向性

1 広報(住民に伝える)

- イベント予告
例: 防災訓練、夏祭り、敬老会、清掃活動など
- 注意喚起
例: 交通安全、防犯情報、ゴミ出しルール、災害時の避難所情報
- リマインド投稿
例: 「明日は〇〇です」「今日 17 時から受付開始」など

2 交流(住民を巻き込む)

- イベント結果報告
写真アルバムや動画をシェア
→ 「参加された方は感想をぜひコメントください」と促す
- 経過報告・裏側紹介
例: 準備風景やスタッフの声を投稿し、「一緒にやってみたい」と思わせる
- 地域のトピック紹介
例: 地域のお店紹介、昔の写真、季節の花や風景

3 記録(活動の履歴を残す)

- 投稿を時系列で残すことで、
 - ✓ 年度末の活動報告書づくりが楽になる
 - ✓ 外部団体や行政への説明資料になる
 - ✓ 新しい住民に「どんな地域活動をしているか」を示せる

実際の運営ポイント

- 管理者を複数人設定(町会長・広報担当・若手メンバーなど)
- 写真の扱いに注意(顔出し NG の人にはモザイク／子どもは後ろ姿中心)
- 定期性を持たせる(最低でも月 1 回更新)
- Facebook だけに頼らない(LINE 公式・掲示板・回覧板と併用)

投稿イメージ

- 【予告】「🚒 防災訓練 9/10(日)10 時～ 神路小学校 体育館にて」
- 【報告】「🌸 敬老会に 120 名の方が参加されました。皆さまの笑顔が印象的でした」
- 【注意】「🚲 夏祭り当日は自転車は大今里公園の臨時駐輪場をご利用ください」
- 【交流】「準備中の風景をご紹介。裏方のみなさんの力で成り立っています👏」

まとめて

地域活動協議会としての Facebook は、「**広報**」+「**交流**」+「**記録**」の役割を持たせると生きてきます。特に、結果報告や準備風景など「人の姿」が見える投稿をすると、住民の共感が得やすいです。